

## くも膜下出血の外科的治療を受けた患者さんへ 【過去の画像治療データ／診療記録の調査研究への使用のお願い】

公立豊岡病院脳神経外科では「オレキシン受容体2拮抗薬はくも膜下出血後の遅発性症候性脳血管攣縮のリスク因子となるか」という臨床研究を行っております。この研究は、くも膜下出血後の患者様の遅発性症候性脳血管攣縮腫瘍のリスク因子を調べることを主な目的としています。そのため、過去にくも膜下出血の加療を受けた患者さんのカルテ等の治療データ／画像検査を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は公立豊岡病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

調査対象期間：西暦2020年01月01日～西暦2021年06月30日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに当科にて上記期間に、くも膜下出血に対して開頭クリッピング術もしくはコイル塞栓術を受けた患者さんのカルテと画像データ（CTやMRI）です。

○過去のデータ（診療記録、CT、MRI）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○本研究によりくも膜下出血後の遅発性脳血管攣縮に対する睡眠薬（特にオレキシン受容体2拮抗薬）の関与の有無を検討いたします。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は公立豊岡病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、公立豊岡病院脳神経外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、西暦2022年1月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

### 【問い合わせ先】

公立豊岡病院 脳神経外科

研究責任者：池内佑介 石井大嗣

Tel. 0796-22-6111 (代)